

## 令和6年度第1回運営推進会議 議事録

事業所名（種別）	大泉学園さくらの家・大泉学園やまぼうし・大泉学園はなみずき		
所在地	練馬区大泉学園町7-19-17		
開催日時	令和 6年 4月27日 土曜日 14:30~15:30		
開催場所	ケアヴィレッジ こぶしの家 101号室		
出席者内訳	利用者	0名	
	利用者家族	7名	
	民生委員・町会役員・地域代表	1名	
	知見者	1名	
	練馬区・地域包括支援センター職員	2名	
	事業所職員	3名	やまぼうしケアマネ さくらの家管理者
			はなみずき管理者 相談員
	その他	〇名	
議題 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	さくらの家のご報告 やまぼうしのご報告 はなみずきのご報告		
報告内容 ※別紙での説明がある場合は、「別紙のとおり。」と記載することで省略可能。	<p>数字的には別紙のとおりです。</p> <p>さくらの家のご報告です。          まずは利用者の状況です3月にひとり入院しそのまま退居になり 4月にひとり入居されました。          職員状況ですが 常勤職員が12名 非常勤職員が5名 派遣が1名になっています。          行事ですがひな祭りはお寿司をとってナカタヤのケーキを食べております。          を買ってお祝いしております。お花見なのですが シフトを作るときには16日くらいに開花と出ていましたが 急に寒くなり開花がずっと遅れてしまい、まだ1輪もさかずに          華屋与兵衛での外食に変更しました。3年ぶりの外食で皆さんとても喜ばれました。          春のお誕生日会も多く お世話になっているナカタヤさんでケーキを頼みお祝いしています。          研修報告ですが今井が7月より管理者交替のための研修を受けております。今回は、防火管理者の研修を受けてもらいました。          事故報告ですが一人での歩行が難しい方ですが 一人でベッドから離れてしまい、お部屋の入り口付近でしりもちをついていた状態で発見されることがありました。センサーを付けていますが 他の方の介助中ですがすぐに動けなかったようです。フロアにはいると一人の利用者さんの額にあざができていました。職員はその場を誰もみていなく 本人に確認するとテーブルにぶつけたと話されていました。          今さくらで一番多い事故は下剤です。排便を夜中の12時で計算し 朝に下剤を飲んでいただくのですが、それが抜けてしまったり 排便の記録がぬけて</p>		

いたりです。一人の方はご自分でレシカルを入れて毎日排便があるのですがその記録が2日とも抜けてしまうことがありました。十分気を付けていきたいと思います。

酸素を使っていらっしゃる方は、トイレに行くときやどこかに行くときは子機から親機、親機から子機にと取り替えるのですが その時 電源を入れ損ねてしまったことがありました。でも血中酸素が全く下がりませんでした。味噌汁を配っているときに置いた場所が悪かったのか滑ってしまったのか？味噌汁がこぼれてしまうことがありました。

ヒヤリも同じようなことが多く、センサーが気づかなかったり、ならなかったり。トイレに行くのがわかるようにセンサーを置いているのですが 布団を落としてずれてしまったり、動かしてしまったりということがあります。自立している方も 自分でクローゼットの上の荷物の整理をしようとしてフロアの丸椅子を持っていこうとされたり 未然に防げたのでよかったです。

#### やまぼうし

利用者状況ですが4月に包括から2名登録されて 現在24名の登録になっています。

職員状況ですが常勤職員9人、非常勤職員2人 派遣1人 非常勤看護師が1人です。非常勤看護師は月・金と水曜日の午前中に来てくれています。

行事報告ですが ひなまつりは、ちらしずしの行事食を召上がり、午後はゲームなどをして遊んでおります。お誕生日会とケア会議を行っております。

研修報告ですが今回は誰も行っておりません。

事故報告ですが外傷ですが お風呂で洗面台の角にぶつかり少しキズができてしまった。爪が伸びてしまっていることで傷がついてしまっていました。あとしなないうちにあざができていました。その他ではメールに気づかず行き違いが起きてしまいました。薬2件は薬を名前を間違えてのませってしまったので2件になりました。

メールが来たらわかるようにパソコンのできる人にしてもらいました。

あとは洗濯で便汚染をしてしまったものをピューラックスで消毒してしまい色抜けをしてしまいました。

ヒヤリでは転倒しそうになったのを未然に防げたのと 薬の日付間違えて飲ませる前に気づけたのでヒヤリになりました。ティッシュを食べようとしたのですがそばにいてみることができたので未然に防ぐことができました。外にいったときにアルコールで消毒をしようとしたら それをなめようとされてしまったがなめる前に気づけた。

苦情の方が今のところ上がってきておりません。

#### はなみずき

はなみずきは地域密通所介護で最低2回運営推進会議を行うようになっていますので4月と10月には合同参加でよろしく願いいたします。

はなみずきは定員が4月から15名から18名に定員が変更になりました。

登録者が44名で平均介護度が1.6になっております。

職員状況ですが常勤8名非常勤職員5名派遣は0で13名になっております。常勤の中には看護師が1名と機能訓練指導員も含んでおります。非常勤職員にも音楽療法士が1名と機能訓練指導員が含まれています。

ボランティアはアートセラピーが2名と陶芸クラブが月に1回で1名いらしゃっています。

行事報告ですが11月に光が丘のローズガーデンに外出しております。12月にはクリスマス会を行い、忘年会も行いました。1月は初詣で近くの長久保氷川神社に歩いてお賽銭を持っていってきました。2月は節分会 3月にはひな祭り会を行っています。

研修報告ですが、11月21日に感染症防止研修 12月8日にはBLS研修 1月23日には私が講師で認知症ケア研修。2月18日には法人の理事長が理

	<p>事を務めております日本認知症予防学会の学術講演会で講師をしてきました。3月26日には身体拘束防止・コンプライアンス研修を行っております。</p> <p>事故報告ですが稲をずっと作っていてその稲でしめ縄飾りを作っているときに夢中になり汗をかいて上着を脱ごうとしてたらずと下を向いて行っていたので右後方に転倒してしまいました。本人は上着を脱いで藁を払って撮ろうとしてバランスを崩したとおっしゃっていました。その他では厨房の方なのですがさつまいもとかぼちゃのサラダの中にかぼちゃの種がはいっていて本人が気づき取り除いたことがありました。厨房に連絡し情報共有をしました。ヒヤリハットですが佐 by バックを返しそびれたこと。認知症の方なのですが、椅子と椅子の間に座ろうとしてしまった。エレベーターでふらついた。トレイにのせていたお茶がこぼれてしまった。すぐにトレイを滑り止め付きのものにかえました。脈拍が96だったのに再検せずに入浴をさせてしまった。連絡帳返し忘れ お迎え忘れ、鍵のかけ忘れ、トイレ介助中に薬を飲み始め 薬を飲んでいることは知らなかったので家族に連絡すると朝夕家で飲んでいるものでした。傾眠してお茶をこぼす。座席異動でふらつく。ドアを開けるときにふらつく バス乗車時にふらつくです。</p> <p>はなみずきの通信を出しておりますのでご覧ください。</p> <p>稲を去年作り とてもよかったので今年も稲づくりをする予定です。</p>
出席者からの評価	<p>写真を見せていただき、皆さん笑っていていいなと思いました。</p> <p>ヒヤリハットや事故報告 表になっていて見やすいと思います。小さな気づきが大事です。熱中症にも気を付けてお過ごしください。</p> <p>まだ入居したばかりなのですが ご飯がおいしいと本人は言っています。それに立つとすぐに来てくれるのよ共話しています。</p>
要望、意見および助言と事業所の回答	<p>レジメや議事録などには名前は載せない方がいいと思います。</p> <p>→そうなんですね。今後気をつけます。</p> <p>夜間の職員の人数を増やすことはできないんですかね。一人で見るなんて無理ですよ。職員がいれば 安心だと思うんですけど。防災とかも一人でするのでしょうか？</p> <p>→さくらの家はグループホームで9人で一人の職員がいます。特養や老健などは20人を一人でみることになっています。</p> <p>防災に関しては消防署からまずはベランダに出せる人を出すように言われています。</p>
その他	
次回の開催予定	<p>日時：令和 6年 6月22日 土曜日 14：30～ 15：30</p> <p>場所：ケアヴィレッジ こぶしの家101号室</p>

## 大泉学園やまぼうし

### 令和5年度事業報告書

#### はじめに

一人ひとりに寄り添い、その人（又その家族）の心身の状況、希望を聞きながら、認知症になっても「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし」続けられるように、柔軟できめ細かい支援を心がけてきました。

小規模多機能のサービスの提供の中で、家庭的な雰囲気、馴染みの関係の中で認知症の高齢者と寄り添い安心して過ごせていることを実感しています。しかし、小規模多機能サービスは在宅が困難になれば施設への通過点に過ぎません。その中で少しでも長く安心して、人と楽しく交わり、気持ち、感性を開いていく中で、心身の活性化が図られ、その人の持っている力やその人らしさも発揮され、気持ちの安定や意欲につながってくるように思います。

本当に「小さな場」ですが、これからも笑顔の絶えない、地域で当たり前暮らし続ける支えになりたいと思っています。

開設16年目になりますが、今後も地域に認められるよう努力して続けていきたいと思っています。

#### 1、 運営方針

医療法人社団翔洋会の基本理念「温かいふれあいの心を大切に、新しい地域医療、保険、福祉のネットワークづくりを進める」に基づき、地域密着型居宅介護事業所として、練馬区および関係市町村、地域の保険医療福祉サービスと綿密な連携をとりながら、大泉地区を中心とした総合的なサービスの提供に努める。

#### 2、 運営理念

「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる。」

- \* ゆったりと、くつろいで過ごすことが出来る場所であること
- \* 自分のしたいこと、できることがし続けられること
- \* 自分のルールで過ごすことが出来る、自由であること
- \* 地域に根ざし、地域に開かれた場所であること

#### 3、 利用状況と調整

① 登録利用者数は現在23名

② 通所者数の調整や「訪問」の時間調整「泊まり」の日程調整等、サービス担当者会議や運営推進会議で利用者ご家族に説明し理解を求めました。

利用者状況

<利用登録者>                      年間平均約20.2名                      年間平均介護度 2.1

<通い>

一日15名までの通所になっている。

令和5年度通所実績は年間3,681名、一日平均通所者数は10人になっています。

<訪問>

年間訪問実績回数は4,973回、一日平均約13.5回になっています。送迎も含みます。

1、送迎時、独居のためご自宅に入り通所準備や自宅の戸締り。

- 2、在宅日（通所しない日）に訪問し安否確認、食事作り、食事提供 服薬管理、おむつ交換 簡単な処置 居室やトイレの環境整備 散歩 話し相手 買物代行、同行等

<泊まり>

やまぼうしでは一日5名（緊急時は6名）まで宿泊サービスを利用できますが、令和4年度宿泊数は

1,028名、一日平均2.8人での利用になっています。

## 2. 職員構成

職種	常勤	非常勤
管理者	1（兼務）	
看護師		1
介護支援専門員	1（兼務）	1（兼務）
介護士	8（兼務2）	2（兼務1）
調理担当		1（兼務）

\*

## 3. 会議体制

- ① 運営推進会議 偶数月の第4土曜日開催（年に6回開催）
- ② 法人の運営会議（幹部会） 毎月第3火曜日
- ③ 研修・勉強会 適時実施
- ④ 職員会議 毎月第4木曜日（17:30～19:30）
- ⑤ 各種委員会

<食事・食品管理>

・必要に応じて法人の管理栄養士による食事内容の相談・助言を受けました。

・食材・メニューの調整、管理（食品在庫のチェックと冷蔵庫の整理清掃など）

行事食で季節を感じていただけるように彩りや盛り付けにも配慮しました。

<環境・衛生>（排泄・入浴を含む）

・年間、月間、週間の清掃チェック表を作成し実行いたしました。

・排泄チェック表で管理することにより利用者の体調管理を行いました。

・環境整備

<防災・リスク>

- ・令和5年度は1回実施しました。2回を予定していましたが、コロナクラスターが起きてしまい、今年は1回のみ行いました。今回の訓練はお昼を想定し、行いました。
- ・事故報告書・ひやりはっとは、1か月評価、3か月評価とモニタリングを行っています。

<車両>

- ・毎日車両点検（チェック表）・清掃洗車行っています。
- ・利用者送迎時間に合わせ運行表の随時見直しを行う。
- ・定期点検

<園芸>

- ・季節の草花・野菜・果物の植栽と手入れを利用者様と一緒に

行い楽しみました。  
特に収穫できる野菜などは喜ばれ昼食時に提供しております。

#### <研修>

- 作成。
- ・職員個々が希望する研修計画書を提出し年間個別研修計画
  - ・コロナウイルスも落ち着き、外部研修にも参加するとともに、法人内研修も行っております。
  - ・研修報告管理

#### <広報>

- ・やまぼうし便りの発行（月1回）

- ⑥ 家族懇談会 行うことができませんでした。
- ⑦ 地域ケア会議・練馬区地域密着型事業者連絡会等  
今年度は参加できませんでした。
- ⑧ 練馬区小規模多機能連絡会に参加し他の小規模多機能事業者の取り組みや悩みなど報告を聞き参考になりました。練馬区介護保険運営協議会に引き続き参加させて頂いています。
- ⑨ 大泉学園町づくりネット・ショップ学園通りの運営に参加し地域の福祉関係者と交流し情報交換を行っております。今年度はあまり参加できませんでした。

## 1. サービス計画

### (1) 行事

- 4月 お花見(大泉中央公園、和光樹林公園、栄緑道)
- 5月 端午の節句(菖蒲湯)・
- 6月 外食(星乃コーヒー)
- 7月 七夕会
- 8月 お楽しみスイカ割り
- 9月 敬老の会(銀のさら出前)
- 10月 駐車場でBBQ
- 11月 遠足・外食(板橋熱帯植物園)
- 12月 ミニクリスマス会・冬至(ゆず湯)
- 1月 初詣
- 2月 節分(行事食・豆まき)
- 3月 ひな祭り

※ 利用者個々の誕生日に誕生会を行う。

\* 全てのボランティアは今年度中止としています。

《年間行事は全て計画通り実行できました。》

### (2) 日常生活上の支援

支援を行う上で私達が大切にしたいこと

- ゆったりとくつろいで過ごすことができる場所であること。
- できる限り自分のしたいこと、できることが続けられる。
- 自分のルールですごすことができる、自由であること。

自立支援を目標にミーティング等で職員が情報を共有化し支援を行う上で大切にしたいことを実行してまいりましたが、職員の技量にばらつきがあり今

後、職員の介護技術の標準化の必要性を強く感じております。利用者様一人ひとりに個性があるように、その方に合った支援が行えるように努力をしていく所存です。

### (3) 医療

血圧測定や服薬管理等日常の健康管理を行い、急変時や必要と認められる場合は、母体医療法人、辻内科循環器科歯科クリニックなどに協力を求め、家族の相談に応じる事ができました。

インフルエンザ、新型コロナウイルスは職員・利用者かからずに過ごせました。

## 2. 職員育成

今年度も新型コロナウイルスにより普段ならば外部研修についてケアの仕方や認知症の勉強等を学んではいますが、今年度は外部研修をほぼ中止としていましたので、法人がリモートで行う研修を中心に、個々のスキルアップや感染症などの知識を深めるよう努めました。

他施設での実習は職員から希望があれば便宜を図っています。他事業所を見学することにより自施設で行っているケアの振り返りができるので職員に勧めています。

## 3. 施設設備の点検・補修

管理会社に委託し定期的に点検メンテナンスを行っています。

## 4. 防火・防災

(1) 防災訓練は計画通りにはいかず1回のみ行いました。次年度は計画通り2回行う予定です

実地後は消防署に避難訓練実施届書を提出しています。

(2) 近隣住民への協力の依頼、協力の申し出はできていません。

(3) 地域(町内)の防災訓練への参加はできませんでした。

## 5. その他

(1) 苦情受付 要望等も苦情と理解し、できるだけ家族の要望に添えるよう真摯に受け止め、

できること、できないことを家族に説明し理解していただけるように努力しました。苦情は随時対処しました

(2) 業務改善 仕事の流れ、記録の整備、勤務体制の見直し等随時行いました。

(3) 地域交流 (やまぼうしから情報発信できるように努力していきます。)

## 大泉学園やまぼうし

### 令和6年度事業計画書

#### はじめに

利用者一人ひとりの人格を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。

#### 運営方針

医療法人社団翔洋会の基本理念「温かいふれあいの心を大切に、新しい地域医療、保険、福祉のネットワークづくりを進める」に基づき、地域密着型居宅介護事業所として、練馬区および関係市町村、地域の保険医療福祉サービスと綿密な連携をとりながら、大泉地区を中心とした総合的なサービスの提供に努める。

#### 運営理念

「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせる。」

- \* ゆったりと、くつろいで過ごすことが出来る場所であること
- \* 自分のしたいこと、できることがし続けられること
- \* 自分のルールで過ごすことが出来る、自由であること
- \* 地域に根ざし、地域に開かれた場所であること

#### 基本的サービス指針

- (1) その方らしさを活かし、持っている能力を発揮していただく「自立援助」の場を基本理念とし、地域の一員として安心して生活を営むことができるよう援助する。
- (2) 介護計画に基づき、心身の状況に応じて個別に必要なサービスを提供し、生きがいを持って快な生活を提供する。
- (3) その方の尊厳を大切に、ご意向に沿った生活を提供できるよう、また共同生活での「集団の力」も発揮できるよう、職員は専門職として常に向上とチームワークづくりを目指し、自己研鑽に努める。
- (4) 医療・福祉・家族・地域・法人内外の機関等と連携し、協力を得て安心して豊かな生活ができるよう支援する。
- (5) 地域での馴染みの暮らし、なじみの関係を大切にし、地域で安心して暮らし続けられるよう支援する。

運営上特に留意する事項



- (1) 利用者本人の意思の尊重
- (2) リスク管理
- (3) 職員のチームワークの維持向上
- (4) 家族との連携
- (5) 地域との連携
- (6) 医療との連携

## 事業運営の体制

### 1. 事業規模

登録定員	29名
通所サービス	15名
宿泊サービス	5名(1日) 緊急時6名まで可能
訪問サービス	随時(訪問要員1名)

#### <利用状況の改善・調整>

- ① 事業所経営安定のため、登録利用者25名の確保。施設入所や入院など不安定要素もあり、小規模多機能サービスの啓蒙活動を行い、周知を図っていく。
- ② 「通い」「泊まり」の人数の調整や「訪問」の時間調整等ご家族の理解を得る必要のあることなどを説明、理解を求める。

### 2. 会議体制

- ① 運営推進会議 偶数月の第4土曜日に開催
- ② 法人の運営会議 毎月第3火曜日
- ③ 職員会議 毎月第4木曜日
- ④ ミーティング 随時業務中に実施

#### ⑤ 各種委員会

##### <食事・食品管理>

- ・ ふきのとう栄養士による食事チェック
  - ・ 食品管理(食品在庫のチェックと冷蔵庫の整理清掃など)
  - ・ メニュー管理
- ##### <環境・衛生> (排泄・入浴・口腔を含む)
- ・ 年間・月間・週間清掃計画チェック
  - ・ 清掃・排泄チェック表管理
  - ・ 環境整備
  - ・ 歯ブラシ・コップの衛生管理
  - ・ 義歯の管理

##### <防災・リスク>

- ・ 年2回の避難訓練・防災委員会開催
- ・ リスク委員会による事故報告書の再検討
- ・ マニュアルの現状に即した見直し
- ・ ヒヤリハットの意識化を図り事故防止の検討
- ・ 事故報告書より原因・要因の防止策の検討

＜車両＞

- ・車の定期点検、洗車（委託）
- ・運行表の随時見直し
- ・日々の車両の点検、清掃（委託）
- ・悪天候の際の対応マニュアル作成
- ・事故時の対応マニュアル

＜研修＞

- ・施設内研修（職員のスキル向上を図り毎月の勉強会の実施）
- ・施設外研修情報掲示（練馬区人材育成研修センター）し希望研修受講

の実施

- ・研修報告書の管理

＜広報＞

- ・やまぼうし便りの発行（毎月発行予定）
- ・地域開放行事や年間行事等の計画

⑥地域ミニケア会議・練馬区地域密着型事業者連絡会・練馬区地域密着型分科会に参加

⑦大泉学園町づくりネットに参加し情報交換等地域との連携を図る。

## 1. サービス計画

### （1）行事

4月	お花見		
5月	端午の節句（菖蒲湯）	若葉の集い	
6月	外食ツアー・		
7月	七夕・（西瓜割り）		
8月	納涼祭（法人主催）夏祭り		
9月	敬老会		
10月	バザー		
11月	遠足		
12月	クリスマス会	冬至（ゆず湯）	年越しそば
1月	初詣・書初め・		
2月	観梅・節分		
3月	雛祭り（行事食）		

\* お一人ひとりの誕生日に誕生会を行う。

### （2）日常生活上の支援

- ・自立支援
- ・利用者が有する力を発揮していただけるよう、できるだけしたいこと、できることをし続けられる支援を行い能力の維持を図る。困難ところはその人の力を見極め、見守りや支援を行っていく。
- ・その人の能力にあった役割が持てるよう、調理、洗濯物畳み、食器洗い、配膳、お茶出し、買い物等できることを探していく。
- ・暖かい日はなるべく散歩に出るなどして、歩行力の維持、健康の維持、気分転換などにつなげていく。
- ・お茶を飲みながらのおしゃべりや日向ぼっこ、ソファで横になるなどくつろげる場となるよう環境や日課を考えていく。
- ・季節の行事や地域の催し物などにもできるだけ参加し、馴染みの暮ら

- し、なじみの関係を大切にする。
- ・生活リハビリ、脳リハビリ実施、個別機能訓練実施。
- (3) 医療
- バイタル測定や服薬管理等日常の体調管理を行う。
- 急変時や必要と認められる場合は、母体の医療法人、辻内科循環器科  
歯科クリニック・埼玉病院などの協力を求める。

## 2. 職員育成

- (1) 内外の研修実習などを通して職員の専門性の向上を図る。
- ① 認知症等に対する基本的な専門知識の習得や研修、伝達研修実施
  - ② 利用者のニーズを的確に把握する脳力や寄り添って実践するための経験と技量
  - ③ 24時間・365日の安心安全確保のための医療その他サービスとの連携や職員体制の確保
  - ④ 資格取得・スキルアップのための便宜を図る
- (2) 他施設・サービス見学交流

## 3. 施設設備の点検・補修

管理会社に委託し定期的に点検とメンテナンス。

## 4. 防火・防災

- (1) 防災訓練、避難訓練計画 年2回
- (2) 防火管理責任者 代表者 積田 啓子
- (3) 地域住民との協力
- 火災や自信等が発生したときに近隣住民の方からの協力もいただけるよう呼びかけ、地域住民の一員として様々な形で交流を図る。

## 5. その他

- (1) 苦情受付
- (2) 業務改善 仕事の流れ、記録の整備、勤務体制の見直し
- (3) 利用者主体のグループ作り
- (4) 家族との協力体制
- (5) 帳簿書類整理整備
- (5) 外部評価・自己評価受審し目標達成計画及び自己評価結果の公表
- (6) 実習生の受け入れ（十文字女子大学）
- (7) 「やまぼうし」便りの発行（月1回）
- ホームページ立ち上げ